



学校だより 第20号

令和2年2月18日
新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 知明

二月二十六日から「学年末考査」が始まります

一年のまとめの重要な試験です

家庭学習に集中して

取り組みましょう！

校長 佐藤 浩

■学習に実りをもたらせましょう

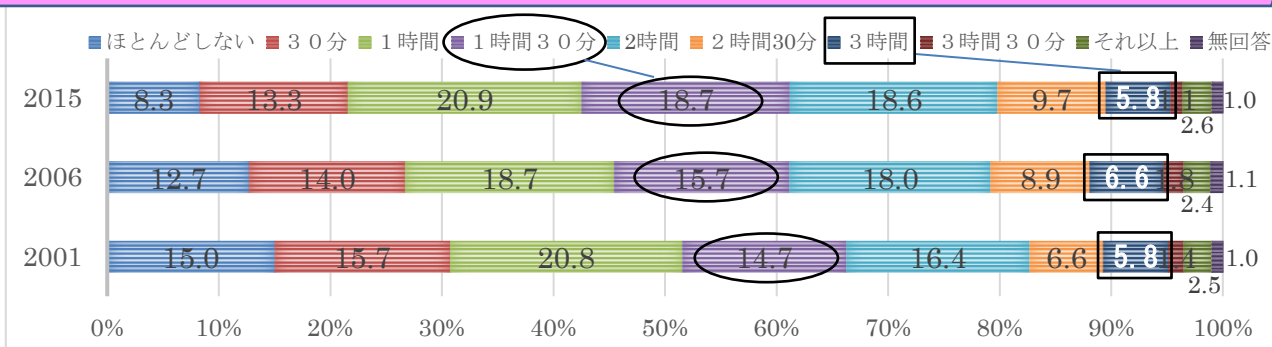
三か月間という短い三学期もちょうど半分が終わりました。そして、一週間後の二月二十六日から三日間、「学年末考査」があります。一年間のまとめの大切な試験であり、生徒には最大限の努力とともに、大いなる実りを期待したいものです。

まず、生徒の学習を軌道に乗せ、確かな収穫をもたらせていくためには、何といっても家庭学習の時間をしっかりと確保し、着実に自学自習を積み重ねていくことが大切です。もちろん学校の授業に集中してしっかりと取り組むことも大切ですが、自分自身の力をさらに伸ばしていくためには、家庭学習の時間を増やし充実させていくことが重要なポイントとなります。

■中学生にとって必要な家庭学習の時間はどのくらいでしょうか？

今から三十数年前、私が中学校の教師として勤務を始めた頃、当時の学校では生徒に対して、家庭学習の時間は「学年の数プラス一時間」が望ましいと指導していました。それは、中学二年生であれば一日三時間の家庭学習ということになります。お子様の家庭学習の状況はいかがでしょうか。「学年の数プラス一時間」の家庭学習はできているでしょうか。平日の毎日にこの時間を求めることは難しいと思いますが、試験前の一週間に関してはぜひ実行して欲しいものです。ベネッセ教育総合研究所の第五回学習基本調査によると、中学生（二年生）の平日の授業以外の平均学習時間は、下記のグラフのように増加傾向にあり、二〇一五年は九〇分となっています。今年度最後の「学年末考査」までちょうど一週間となりました。この一週間は、最低「学年の数プラス一時間」の家庭学習が実現できるよう、ご家庭でもこうした「学年の数プラス一時間」や「平日の授業以外の平均学習時間九〇分」のデータ等を参考に、家庭学習の重要性について話題にするとともに、お子様への働きかけをお願いいたします。全生徒が自分の実力を最大限に発揮できるよう、集中して試験勉強に励んでくれることを期待しています。

中学2年生の平日の家庭での学習時間（ベネッセ教育総合研究所：第5回学習基本調査 2015年）



中学2年生の平日の授業以外の平均学習時間は、2001年を底に前回2006年に引き続き増加傾向にある。
＜2001年：80.3分、2006年：87.0分、2015年：90.0分＞

吹奏楽部 東京都中学校アンサンブルコンテストで、見事に「金賞」受賞！

令和2年1月19日（日）、府中の森芸術劇場で、第53回東京都中学校アンサンブルコンテストが行われました。本校は、A部門、B部門とも見事に「金賞」を受賞しました。

生徒たちはこの本コンテストに向けて、一生懸命に練習に取り組み、着々と実力を付けてきました。練習の成果が表れ、本番では素晴らしい演奏を披露してくれました。おめでとうございます。



- A部門 打楽器五重奏 雪灯籠／白虎
Aさん・Bさん・Cさん・Dさん・Eさん
- B部門 サックス四重奏 異教徒の踊り
Fさん・Gさん・Hさん・Hさん



新宿区夏目漱石コンクール「優秀賞」受賞

新宿区は、夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。亡くなるまでの9年間を過ごした早稲田南町の家では、作家として本格的な執筆活動を開始し、数々の名作を世に送り出しました。新宿区では、夏目漱石を知り、その作品に触れる機会を創出するため、毎年「新宿区夏目漱石コンクール」として、中学生・高校生を対象に読書感想文「わたしの漱石、わたしの一行」を実施しています。今年度は1,972点（中学生857点、高校生1,115点）の応募がありましたが、本校の2年Jさんが見事に「優秀賞」を受賞しました。おめでとうございます。 <中学生 最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作9点>

読書感想文部門（中学生の部） 優秀賞 2年 Jさん 「私の一行」

中学生「東京駅伝」大会 本校から4名の生徒が新宿区代表として走ってきました

令和31年2月2日（日）、アミノバイタルフィールド、及び都立武蔵野の森公園において、第11回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。

新宿西戸山中学校から4名の生徒が新宿区チームのメンバーに選ばれ、当日は、男子は17区間中1区間で、女子は16区間中3区間で、4名の生徒が選手として精一杯走りました。これまでに経験したことのない「新宿区代表としての責任と重圧」を感じながらも、4名の生徒は皆堂々と走り抜きました。結果は、50チーム中、男子が37位、女子が47位でした。



新宿区チームの選手たちは、昨年11月から約3ヶ月間、2回の選手選考会を含め、11回の合同練習に取り組み自らを鍛えてきました。これらの練習と大会当日でのレースを通して、駅伝の走り方、勝負のかけ方、チームワークの大切さなど、多くのことを学ぶことができました。また、普段学校では経験できないことを経験し、精神力が身に付き、人としても一回り大きく成長することができました。自らの人生においても、貴重で意義深い経験となったことと思います。大いに自信をもち、これからの人生に生かしていきましょう。本当によく頑張りました。

□男子第2区 2年D組 Kさん（新宿区男子チームキャプテン）のコメント

約3か月間の練習の中で、男子キャプテンとしての自覚をもち、新宿チームをまとめました。今回の自分の目標は、どんな順位でタスキをもらっても、必ず、次の走者に1位でタスキを渡すことでした。しかし、目標を達成することができなかったのですごく悔しかったです。この悔しさをバネにこれからも頑張ろうと思いました。

□女子第1区 2年A組 Lさんのコメント

私は1番初めの1区を任せられました。体調が不良でベストなコンディションではできず不安が大きかった大会でした。結果は目標だった5位とかけ離れた16位で残念でしたが、3年である駅伝大会では気持ちを切り替えて頑張りたいと思います。

□女子第9区 2年C組 Mさんのコメント

私は、今回9区を走らせてもらいました。9区は順位をキープすることが役割ですが、私はそれを果たすことができませんでした。抜かれた後もうついていけず、自分の弱さが出てしまいました。今後の練習では、この反省を生かし、頑張っていきたいです。

□女子第16区 2年C組 Nさんのコメント

私は今回、一つでも順位を上げることが目標でしたが、一つも順位を上げることができず力不足を感じました。これからは3月の駅伝大会に向けて、部活と両立しながらさらに力を付けられるよう、日々の練習に励んでいきます。

